



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年2月7日

上場会社名 朝日放送株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9405 URL http://corp.asahi.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)脇阪 聡史
 問合せ先責任者 (役職名)経理局長 (氏名)角田 正人 (TEL)06-6458-5321
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績 (平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	60,813	△1.9	2,800	△15.3	3,081	△13.9	1,879	△18.7
29年3月期第3四半期	61,982	2.5	3,306	36.8	3,578	30.3	2,312	35.6

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 3,045百万円 (△11.9%) 29年3月期第3四半期 3,457百万円 (33.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	46.02	—
29年3月期第3四半期	56.63	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	101,946	63,149	57.4
29年3月期	101,979	61,274	55.6

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 58,488百万円 29年3月期 56,750百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	9.00	—	17.00	26.00
30年3月期	—	10.00	—		
30年3月期(予想)				10.00	20.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想 (平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	80,500	△2.2	4,100	△17.5	4,300	△18.3	2,600	△23.9	63.67

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

30年3月期3Q	41,833,000株	29年3月期	41,833,000株
30年3月期3Q	996,087株	29年3月期	996,087株
30年3月期3Q	40,836,913株	29年3月期3Q	40,836,913株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当社は、平成30年2月14日（水）に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
3. (参考) 四半期財務諸表(個別)の概要	9
(1) 個別経営成績	9
(2) 個別財政状態	9
(3) 個別売上高の内訳	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成29年4月1日から平成29年12月31日まで)の日本経済は、堅調な企業収益や雇用環境などを背景に、緩やかな回復基調が続いています。

このような経済状況の中、当社グループが主力事業を展開する放送事業においては、テレビネットタイム収入等の減収により、売上高は減収となりました。ハウジング事業においては、住宅展示場の新規開設に伴う増収等により、売上高は増収となりました。ゴルフ事業においては、来場者数の増加等により、売上高は増収となりました。以上の結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は608億1千3百万円となり、前年同期に比べて11億6千9百万円(△1.9%)の減収となりました。

一方、費用面では売上原価が403億6千2百万円で、前年同期に比べて7億9千7百万円(△1.9%)減少しました。販売費及び一般管理費については176億5千万円となり、1億3千4百万円(0.8%)増加しました。この結果、営業利益は28億円となり、5億5百万円(△15.3%)の減益、経常利益は30億8千1百万円で4億9千7百万円(△13.9%)の減益となりました。また、特別利益として、周波数帯移行に対する補助金収入2千万円、子会社における投資有価証券売却益2千4百万円を計上しました。以上の結果、税金等調整前四半期純利益は31億2千6百万円で6億3千4百万円(△16.9%)の減益となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は18億7千9百万円で4億3千3百万円(△18.7%)の減益となりました。

セグメントごとの業績は、以下のとおりです。

[放送事業]

放送事業の売上高は513億8千6百万円となり、前年同期に比べ16億7千9百万円(△3.2%)の減収となりました。テレビネットタイム収入や催物収入の減収が主な要因です。一方、営業費用は、催物費やネットワーク費等の減少により、全体として前年同期に比べ2.2%減少しました。この結果、営業利益は19億2千1百万円となり、5億1千2百万円(△21.1%)の減益となりました。

[ハウジング事業]

ハウジング事業の売上高は87億2千1百万円となり、前年同期に比べ4億7千6百万円(5.8%)の増収となりました。不動産販売や、住宅展示場の新規開設に伴う増収等が主な要因です。一方、営業費用は、不動産販売に伴う原価計上や住宅展示場の新規オープン費用等の増加により、7.2%増加しました。この結果、営業利益は8億3百万円となり、前年同期に比べて5千2百万円(△6.1%)の減益となりました。

[ゴルフ事業]

ゴルフ事業の売上高は7億5百万円となり、前年同期に比べ3千4百万円(5.1%)の増収となりました。来場者数の増加に伴うプレー収入の増収と名義書換料収入の増収が主な要因です。一方、営業費用は、前期にクラブハウス改修に伴って増加した減価償却費が当期減少したこと等により2.3%減少しました。この結果、営業利益は7千5百万円となり、前年同期に比べて5千9百万円(359.8%)の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は前連結会計年度末に比べて3千3百万円減少し、1,019億4千6百万円となりました。有形固定資産が14億8千1百万円増加する一方で、未払法人税等の支払や配当金の支払に伴い、現金及び預金が39億4千1百万円減少したこと等によります。

(負債)

負債合計は前連結会計年度末に比べて19億8百万円減少し、387億9千7百万円となりました。未払法人税等が10億8千1百万円減少したこと等によります。

(純資産)

純資産合計は前連結会計年度末に比べて18億7千5百万円増加し、631億4千9百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益18億7千9百万円を計上する一方、剰余金の配当11億2百万円を行いました。さらに、保有する投資有価証券の時価の上昇に伴い、その他有価証券評価差額金が5億3千4百万円増加したこと等によります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績は想定範囲内で推移しているため、通期連結業績につきましては、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益とも前回発表予想のとおりとしております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,082	13,140
受取手形及び売掛金	12,530	13,542
有価証券	1,650	2,402
たな卸資産	2,148	1,878
その他	2,204	2,276
貸倒引当金	△7	△7
流動資産合計	35,608	33,233
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	19,663	19,616
土地	10,531	10,858
その他(純額)	6,582	7,783
有形固定資産合計	36,776	38,258
無形固定資産		
ソフトウェア	132	220
ソフトウェア仮勘定	744	788
その他	118	120
無形固定資産合計	995	1,129
投資その他の資産		
投資有価証券	17,805	18,792
その他	11,034	10,770
貸倒引当金	△241	△237
投資その他の資産合計	28,598	29,325
固定資産合計	66,371	68,713
資産合計	101,979	101,946

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	100	50
1年内返済予定の長期借入金	-	40
未払金	5,538	5,649
未払法人税等	1,266	185
引当金	104	557
その他	4,908	4,283
流動負債合計	11,918	10,765
固定負債		
長期借入金	-	140
退職給付に係る負債	19,677	19,096
その他	9,109	8,795
固定負債合計	28,786	28,031
負債合計	40,705	38,797
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,299	5,299
資本剰余金	3,695	3,695
利益剰余金	48,191	48,968
自己株式	△500	△500
株主資本合計	56,686	57,463
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,985	3,520
退職給付に係る調整累計額	△2,921	△2,495
その他の包括利益累計額合計	64	1,025
非支配株主持分	4,523	4,660
純資産合計	61,274	63,149
負債純資産合計	101,979	101,946

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	61,982	60,813
売上原価	41,160	40,362
売上総利益	20,822	20,450
販売費及び一般管理費	17,515	17,650
営業利益	3,306	2,800
営業外収益		
受取利息	21	28
受取配当金	236	238
その他	64	53
営業外収益合計	322	320
営業外費用		
支払利息	10	6
固定資産処分損	17	24
開業費	20	-
その他	1	7
営業外費用合計	50	39
経常利益	3,578	3,081
特別利益		
固定資産売却益	66	-
投資有価証券売却益	-	24
補助金収入	116	20
特別利益合計	182	45
税金等調整前四半期純利益	3,760	3,126
法人税等	1,200	1,046
四半期純利益	2,560	2,079
非支配株主に帰属する四半期純利益	247	200
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,312	1,879

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	2,560	2,079
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	483	539
退職給付に係る調整額	412	426
その他の包括利益合計	896	965
四半期包括利益	3,457	3,045
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,206	2,840
非支配株主に係る四半期包括利益	250	204

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	放送事業	ハウジング 事業	ゴルフ事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	53,066	8,244	671	61,982	—	61,982
セグメント間の 内部売上高又は振替高	346	15	48	411	△411	—
計	53,412	8,260	720	62,393	△411	61,982
セグメント利益	2,433	856	16	3,306	—	3,306

(注) 1 調整額△411百万円は、セグメント間の取引消去金額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

当第3四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	放送事業	ハウジング 事業	ゴルフ事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	51,386	8,721	705	60,813	—	60,813
セグメント間の 内部売上高又は振替高	404	17	57	480	△480	—
計	51,791	8,739	763	61,293	△480	60,813
セグメント利益	1,921	803	75	2,800	—	2,800

(注) 1 調整額△480百万円は、セグメント間の取引消去金額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

3. (参考) 四半期財務諸表(個別)の概要

平成30年3月期第3四半期の個別業績(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期 第3四半期	46,910	△4.5	1,628	△33.3	2,009	△29.2	1,396	△33.5
29年3月期 第3四半期	49,140	1.3	2,440	77.0	2,839	59.3	2,098	51.7

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産
	百万円	百万円
30年3月期 第3四半期	77,835	54,345
29年3月期	78,326	53,526

(3) 個別売上高の内訳

	前第3四半期 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	増減	増減率
	百万円	百万円	百万円	%
テレビ放送事業収入				
タイム	15,419	14,806	△612	△4.0
スポット	26,482	26,157	△325	△1.2
番組販売	1,706	1,666	△39	△2.3
計	43,608	42,630	△977	△2.2
ラジオ放送事業収入	2,169	2,007	△161	△7.5
その他	3,361	2,272	△1,089	△32.4
合計	49,140	46,910	△2,229	△4.5

(注) 四半期財務諸表(個別)の概要の数値につきましては、法定開示におけるレビュー対象ではありません。